岐阜・三重

多治見市から運営受託

山林整備や伐採木のバイオマス燃料化などを手掛ける山田林業（本社多治見市廿原町506の1、山田幸之介社長、電話0572・25・0863）は、多治見市の自然体験施設「三の倉市民の里地球村」跡地の運営を市から受託し、7月にもリニューアルオープンする。地域貢献の一環。名古屋市などから年間2万人の来場を見込み、企業研修や催事利用も想定する。（岐阜・伊藤綾音）

山田林業は、地域資源の自然を生かして多治見市で飲食店「カフェモンタナ」を運営するなど、地域活性化に取り組んでおり、サンゴウビレッジの開設もその一環。

山田社長は「ボランティアに積極的に取り組み、まちに寄り添ってきた。自治体の街コンの会場などサンゴウビレッジのさまざまな用途を見込んでいる」と話している。

1996年設立。社員数は約40人。2026年2月期の売上高は約5億5千万円。

自然体験施設を再整備

山田林業

7月に施設全体の整備を完了予定（同社提供）

来月オープン、地域貢献で

リニューアル後の施設の名称は「サンゴウビレッジ」。日曜（サンデー）に出掛け（ゴー）たくなる場所を目指す。敷地面積は20㌶強で、バーベキュー場を作り替え、ドッグランも新設する。既存の設備も生かし、本館や学習棟、天文台、キャンプ場、ログハウスなども利用できるようにする。宿泊も可能。

山田幸之介社長

4月から順次、キャンプ場などは利用を受け入れており、施設全体の整備完了は7月を予定している。

運営に当たって、河地鉄工（本社多治見市）とともに一般社団法人のフォーレサンノクラを立ち上げた。サンゴウビレッジの屋内施設に設置する机は、1枚板を山田林業が、鉄製の脚を河地鉄工が制作するなど共同で施設を整備していく。

68店舗・団体に感謝状

三重県信用保証協 中小の資金支援で

贈呈式の様子

【三重】三重県信用保証協会は8日、津市内のホテルで「令和7年度がんばる企業応援キャンペーン」の感謝状贈呈式を開いた。同協会の保証制度を活用して中小企業の資金支援に取り組んだ金融機関など68店舗・団体に感謝状を贈った。

「協調支援型特別保証制度推進協力店舗」をはじめ、創業支援や事業承継関連推進協力など7部門のキャンペーンで上位に入った57の金融機関店舗と11の商工団体に贈呈した。

同キャンペーンは中小企業の資金需要に対応する保証制度の普及と、経営改善

岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
TEL058(266)7576
FAX058(262)6571

西濃支局
大垣市室本町2-39
竹中ビル203号
TEL、FAX兼用
0584(75)1289

三重支社
津市栄町4-643
津栄町三交ビル3階
TEL059(228)2545
FAX059(271)6311